

## BLS指導員養成講習会 指導要領 【時間配分一覧】

章タイトル		学科(分)	実技(分)
1	自己紹介とフィードバック	90	0
2	JLA指導員としての基本、JLA組織体制	70	0
3	BLS講習会指導のポイント	60	0
4	資器材の取り扱いについて	0	50
5	BLS標準実技デモンストレーション	0	170
6	PBLS実技	0	50
7	学科指導実習	0	320
8	実技指導実習	0	320
9	検定試験、開・閉講式、実習打合せ、等	160	390
講習時間小計		380	1300
		6時間20分	21時間40分
講習時間合計		1,680	
		28時間00分	

講習時間:28時間

- ・講習時間は最低講習時間数とする
- ・1日の講習時間は8時間を越えないことを原則とする
- ・講習時間には検定の時間を含める。

※JLAアカデミー 指導員資格認定に関する規程細則 第1条(指導員養成講習会内容)より

章タイトル	項目	時間	到達目標	指導内容／指導上の留意点
	自己紹介とフィードバック 【90分】	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者を評価することを学ぶ。</li> <li>他者を評価されることで自身の気づきに繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導員としての立ち居振る舞い(身だしなみ、言葉遣い、表情など)を指導する。</li> <li>交代の時間、発表の時間、メモの時間、フィードバックの時間、について必ず時間厳守で進める。</li> <li>受講者数により時間配分は変わる(最大90分とする)。</li> </ul>
JLA指導員としての基本、JLA組織体制 【70分】	JLA指導員としての基本	25	JLAアカデミー指導員規程を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>JLA指導員の重要な要素を理解させる。</li> <li>JLA指導員としての心構えとなる「貢献」「継続」「謙虚」についても触れる。</li> </ul>
	JLAの組織体制	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>JLAの方針を理解する。</li> <li>JLA組織体制を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JLAのビジョン、ミッション、ストラテジー、フィロソフィーを理解させる。特に日本国内における溺水の現状を振り返り、「水辺の事故ゼロ」を再認識させる。</li> <li>「グランドデザイン2061」を理解させる。</li> <li>日本のライフセービングの歴史に触れる。</li> <li>認定ライフセーバーについて理解させる。</li> </ul>
	JLA-BLS講習会	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>BLS講習会の目的を理解する。</li> <li>指導の基本について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「誰に対して」伝えるのか、受け手の立場(言葉)を意識させる。</li> <li>他団体のBLS講習との違いを踏まえ、JLA-BLS講習会の目的を理解させる。特に一定頻度者講習会に該当していることにも触れる。</li> </ul>
BLS講習会指導のポイント 【60分】	指導を行う上で意識しておくこと	30	指導を行う上で、意識すべきことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>要点と要領について理解させる。</li> <li>指導要領と検定要領を説明し、足並みを揃えて指導を進めることの大切さについて理解させる。</li> <li>指導員としてのレクチャースキルや立ち居振る舞いについても触れ、講習会中も指導員になった時のことを想定し、臨むように伝える。</li> </ul>
	指導技術について	30	指導技術を理解する。	指導技術について、時間、板書、映像、デモンストレーション、言葉、表情、態度等の観点からそれぞれの重要性を理解させる。
検定試験、開・閉講式、実習打合せ、等 【160分】	開講式	10	指導員紹介、スケジュールの確認、など	
	実習打合せ、事務連絡、など	50	学科指導実習、実技指導実習における指導内容の打合せ、各日のまとめ・事務連絡、休憩など	
	学科検定	60	学科検定試験(記述)	
	閉講式	40	修了証の配布、担当指導員総評、合否発表、講習会の開催方法、指導員昇格、LIFESAVERSの運用、など	
	学科講習合計(分)	380		

章タイトル	項目	時間	到達目標	指導内容／指導上の留意点
資器材の取り扱いについて 【50分】	AEDトレーナーの取り扱い	25	・使用方法を理解する。 ・消耗品の交換方法について理解する。	メーカーの取扱説明書に準じ、電池交換、音量調整、シナリオの選択、電極パッドの取り扱いなどを体験させる。
	訓練用ダミー人形の取り扱い	25	・使用方法を理解する。 ・消耗品の交換方法について理解する。	・全身タイプ、半身タイプ、成人か小児等により構造と取り扱い方法が異なる点を理解させる。 ・ダミー人形の消耗品の交換方法を体験させる。
BLS標準実技デモンストレーション 【170分】	BLS標準実技	130	JLA-BLS標準実技(デモンストレーション)を習得する。	・デモンストレーションを習得させる。 ・「成人BLS標準実技(デモンストレーション)の呼称」を一言一句習得させる。 ・JLA-BLS標準実技の映像を用いて指導する。 ・一つ一つの基本動作を丁寧に、はっきりと「見せる」「伝える」ことを意識させる。 ・指導員として「できること」と「見せること」の違いについても触れ、指導技術の習得に繋がられるように促す。
	回復体位	20	回復体位のデモンストレーションを習得する。	・デモンストレーションを習得させる。 ・救助者が居る側(手前側)に起こす方法を指導する。 ・一つ一つの基本動作を丁寧に、はっきりと「見せる」「伝える」ことを意識させる。 ・指導員として「できること」と「見せること」の違いについても触れ、指導技術の習得に繋がられるように促す。
	気道異物除去	20	気道異物除去のデモンストレーションを習得する。	・デモンストレーションを習得させる。 ・「背部叩打法」と「腹部突き上げ法(ハイムリック法)」の2種類のデモンストレーションを指導する。 ・デモンストレーションであっても、過度な力を加えないことに留意させる。 ・一つ一つの基本動作を丁寧に、はっきりと「見せる」「伝える」ことを意識させる。 ・指導員として「できること」と「見せること」の違いについても触れ、指導技術の習得に繋がられるように促す。
PBLS実技 【50分】	PBLS実技について	50	PBLS(小児・乳児ともに)を理解し、実技を体験する。	・成人との違いを理解させる。 ・デモンストレーションを体験させる。 ・心原性、呼吸原性について説明する。 ・JLAアカデミーにおいて、アドバンス・サーフライフセービング講習会やアドバンス・プールライフガーディング講習会では、PBLSの知識や技術を扱うこと、BLS講習会では、PBLSを学科で扱うことを伝える。
学科指導実習 【320分】	教本第1章～8章の学科項目について	320	BLS講習会の学科を、指導要領に沿って指導出来るようになる。	・項目ごとに受講生を割り振り、4分間の学科指導実習を行う。 ・4分間の実習後、他の受講生からのフィードバックを3分間実施する。 ・指導員もフィードバックを行い、改善すべきポイントを伝える。 ・講習期間中、2回以上の学科指導実習を行うが、指導責任者は受講生の割り振りになるべく重複しないように配慮する。
実技指導実習 【320分】	教本第4章および6章の実技項目について	320	BLS講習会の実技を、指導要領に沿って指導出来るようになる。	・項目ごとに受講生を割り振り、4分間の実技指導実習を行う。 ・4分間の実習後、他の受講生からのフィードバックを3分間実施する。 ・指導員もフィードバックを行い、改善すべきポイントを伝える。 ・講習期間中、2回以上の実技指導実習を行うが、指導責任者は受講生の割り振りになるべく重複しないように配慮する。 ・初回の実技指導実習を撮影する。撮影した動画を全員で視聴し、自分自身の実技指導をフィードバックさせる。
検定試験、面接等 【390分】	実技検定/学科指導	90	・指定された1つの項目を4分間で実技検定を行う。	・他の受講生からのフィードバックを各検定後に行う。指導員(検定員)からのフィードバックは行わない。
	実技検定/実技指導	90		
	実技検定/JLA-BLS標準実技(デモンストレーション)	90	JLA-BLS標準実技(デモンストレーション)の実技検定を行う。	
	口頭試問及び面接	90	検定員2人による面接を行う。	
	休憩など	30	休憩は適宜取り入れる。	
実技講習合計(分)		1300		